



# ま ちがと インタビュー

## ふたば未来学園高等学校が開校 開校したことにより町の変化は

平成27年4月8日に、ふたば未来学園高等学校が開校しました。明るく希望に満ちた若い学生を見かけるようになりました。

そんな中、町内の商店では、どのような変化があるのか、どのような想いがあるのか伺いました。



鈴木 由紀夫さん  
(下浅見川・築地)

私の店にも職場訪問で来られたこともあり、お客さまと店という縁で接するだけかも知れませんが、この縁を大切にして彼らを温かく応援していきたいと思っています。

広野町に若い人達の姿、そして話し声が聞こえるようになり、とても活気があり町に希望が出てきたように思います。  
生徒達が歩いているのを見るだけでも笑みがこぼれます。



4月に開校したふたば未来学園高等学校



須藤 景亮さん  
(セブンイレブン広野町店)

ふたば未来学園高等学校が開校してから、たしかに生徒達、保護者の皆様において頂いています。

以前は、作業員の方々を含めて大人の生徒がほとんどでしたが、若い生徒さん達が目につくようになって、広野町全体が明るくなったように感じます。

生徒さん達はそれぞれ個性があつて、興味深く接客させて頂いています。  
今の一年生の成長を楽しみにしています。

## 編集後記

梅雨の時期は、七変化とも呼ばれるアジサイの花が見る人を楽しませてくれる一方、体調をくずす方が多くなります。皆様は、お変わりないでしょうか。

町政75周年となる本年は、ふたば未来学園高校の開校、町の復興シンボル事業である駅東側開発整備事業、第2期災害公営住宅整備事業、役場前に公設商業施設の開業等があります。

町議会も、これら事業の推進に向けて、町民の皆様と共に復興再生を目指し全力で頑張つて行きたいと思えます。

また、私たち編集委員は、親しみやすい広報誌づくりに努めてまいりますの

で、ご意見、ご感想をお寄せいただければ幸いです。  
(北郷幹夫)



梅雨時期を彩るアジサイ

発行・編集責任者

議長 鈴木紀昭

広報委員会

委員長 渡邊正俊

副委員長 北郷幹夫

委員 塩 史子

委員 渡辺久長

委員 門馬 巧

委員 畑中大子

委員 小磯利雄

次の定例会は9月です